



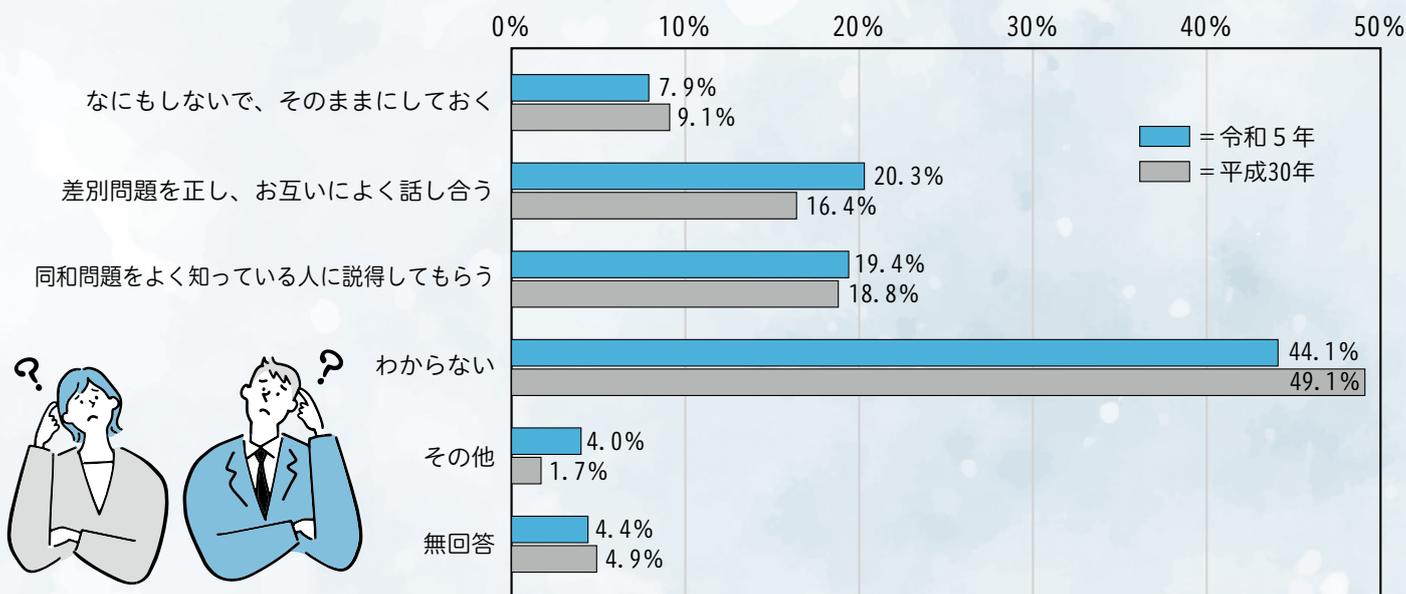
8月は佐賀県同和



部落差別（同和問題）は同和地区、被差別部落などと呼ばれる特定の地域の出身であることや、そこに住んでいるということを理由に、さまざまな差別を受けるといった問題です。このような問題は憲法で定めている基本的人権に反することで重大な人権侵害です。



Q あなたの身近で同和地区の人々に対して差別的な言動があった場合、どうしますか。



令和5年6月「人権・同和問題に関する多久市民意識調査」より

この設問で、回答者の約半数が「わからない」と答えています。前回（平成30年）より減少しているものの、何が差別であるのか、何が差別につながるのか、差別を目にしたときにどう行動すべきか分からない、という理由が考えられます。差別的な言動や行動は、当事者にとって深い心の傷となります。また、場合によっては結婚や就職など、人生に大きな影響を及ぼします。

一人ひとりが部落差別（同和問題）について正しい知識を学び、「差別をしない させない 見過ごさない」という意識を持つことが差別の解消につながっていきます。

えせ同和行為にご注意ください

同和問題の解決をめざす団体であるかのように名乗り、物品の購入や寄付金、広告の掲載などを強要する行為のことをいいます。このような行為は、同和問題に対する偏見や差別意識を助長する大きな原因となっています。

★対応方法は？

- ①相手が誰か、要求内容は何かを明確にする
- ②激しい口調であっても、その場しのぎの安易な妥協はせず、はっきりと断る
- ③暴力的言動があれば、すぐに警察に通報する

